

# 医師になる前に まず働きかけることが できる人になろう！

\_\_医学を学び始める前に身につけるべきこと\_\_



2011 医学概論 I テキスト



# 目次

1. 挨拶する、名前を呼ぶ（人間関係の出発点） ---	4
2. 問いかける -----	6
3. 観察する -----	8
4. 気に親しむ、気を用いる -----	10
5. 手で感じる、手を触れる -----	12
6. 言葉で実証的に考え、理解を組み立てる -----	14
7. 生老病死を考える -----	16
8. 感性を動員して考える、相手の立場に立つ -----	18
9. 部活・サークル活動をする -----	20
10. 人のために働く、ボランティアをする -----	22

# 1. 挨拶する、名前を呼ぶ

## (人間関係の出発点)

人間関係の出発点は、相手に語りかけること、最初の語りかけは、挨拶することだ。 医師と患者の関係も、挨拶から始まる。

挨拶したら、自分に、何が起こるだろうか。

挨拶したら、相手は、どう変わるだろうか。

人から挨拶されたら、自分に何が起こるだろうか。

その人の名前を覚え、名前を呼ぶことも大切だ。

名前をどのように呼んだらいいだろうか。・・・

メモ

日 時	経験内容、感じたこと、考えたこと

## 2. 問いかける

相手の人は、どのような人だろうか。

何を大切にしているだろうか。

何か困っているだろうか。

どのように問いかけたら、良いだろうか。

目の前の人に、いろいろな人に、何かを話しかけ、問いかけてみよう。

メモ

日 時	経験内容、感じたこと、考えたこと

### 3. 観察する

日々の生活においても、医師の仕事でも、状況を観察することは大切だ。

何をどう見たらよいだろうか。

どこをどのように見たら良いかを、いつも誰かが教えてくれるとは限らない。

まずさっと目で見ると。何が見えたのか、考えてみる。

目を使うだけが観察ではない。目を閉じていても、風の動きや、音や、匂いや、いろいろなものを観察できる。

特に、新しい場所に行ったら、新たな状況に出会ったら、観察を始めてみよう。

メモ



日 時	経験内容、感じたこと、考えたこと

## 4. 気に親しむ、気を用いる

生きることの、また医師になることの出発点は「気力、元気、吸気、呼気、気分、空気、気象、・・・」といった様々な「気」を感じることだ。生きていることを、命のエネルギーを、息することを、生き生きとしている様子を、人の気配を・・・。

西洋医学の体系は、目で見える存在を大切に、実験的に論理を進める。目に見えない「気」は、主観的なものと位置づけられる。

一方、東洋医学の体系は、「気」のように目には見えなくても、経験的に「そこに存在することが感じられる対象」を大切に、論理を進める。

目には見えないが、多くの人を感じることは出来るという「気」に、親しんでみよう。

メモ

日 時	経験内容、感じたこと、考えたこと

## 5. 手で感じる、手を触れる

人の進化に伴って、手と足の機能は、分化して来た。

手は道具を使うことができる。多くの人々が日々生活する上で、また医師が仕事を行う際も、手は多くの道具を扱い、さまざまな仕事をする。

手は、手だけでも、とても大切な働きをしている。握手するときも、拍手するときも、赤ちゃんを抱っこするときも、体の一部をかばうときも、手は大きな働きをする。

人をケアするときにも、手は大きな働きをする。かつては、医師も、現在よりもずっと、手そのものを用いて、打診や触診を行って来た。看護師にとっては、今でも、患者さんをケアする上で、手は他のどのような道具よりも、大切だ。

あなたの手はどんな働きをしているのだろうか。自分の手を観察してみよう。何かを手で感じることができるか、手で考えることができるか、試してみよう。

メモ

日 時	経験内容、感じたこと、考えたこと

## 6. 言葉で実証的に考え、 理解を組み立てる

言葉は人の文明一般にとっても、医学にとっても、とても大切だ。

目が見えなかったり、耳が聞こえなかったりしても、言葉の大切さは変わらない。話された言葉だけでなく、書かれた言葉、点字で表された言葉、手話で表された言葉・・・、いろいろな言葉がある。

医学の学習では、少なくとも数千個の専門用語を覚えることが求められる。高度な専門知識は、多くの言葉を必要とする。

しかし、言葉は多ければ良い、というものでもない。少しの言葉でも、とても重い意味を持つことがある。少しの言葉でも、とても多くのことを語っている場合がある。

専門用語を覚え始める前に、少しの言葉から深く考えることを試してみよう。

メモ

日 時	経験内容、感じたこと、考えたこと

## 7. 生老病死を考える

人の一生はいろいろな出来事に満ちている。楽しいこともあるが、苦しいこともある。

特に生老病死は、苦しいことの方が多い。生老病死は人生の中で大きな出来事で、人はそれを避けて生きることが出来ない。

医師は他のどのような職業よりも、生老病死に深く関わる職業だ。

生老病死を学ぶ方法はいろいろある。本を読む、人に聞く、その場所に行ってみる、自分の体験を振り返ってみる、等々。

生老病死について考え続けよう。

メモ



日 時	経験内容、感じたこと、考えたこと

## 8. 感性を動員して考える 相手の立場に立つ

人を理解する上で、相手の立場に立つことは大切だ。

医師は、患者さんの立場に立つことが求められる職業だ。

医学の知識が増えることと、相手の立場に立てることは、異なる。

自分とは異なる人の立場に立つためには、自分の感性や感覚を動員して、その人の状況に近づく必要がある。

高齢を生きている人、障がいや病気と共に歩んでいる人、悩みを抱えている人・・・ そうした人々の状況に、共感できるだろうか。理解できるだろうか。

今から、相手の立場に立つことを練習してみよう。

メモ

日 時	経験内容、感じたこと、考えたこと

## 9. 部活・サークル活動をする

大学生として、大学の授業で知識を学ぶことは重要だ。しかし知識だけが増えても、社会を視野に入れて、人間的に成長出来ないと、知識は空しいものになる。

社会や人間関係について学び、成長するために、部活やサークル活動の存在は大切だ。

楽しさから一歩進み、心身を鍛え、物の見方や社会の見方を鍛えて、今とは少し違う自分になってみよう。

メモ

日 時	経験内容、感じたこと、考えたこと

# 10. 人のために働く ボランティアをする

医師の仕事は患者さんのために働くことだ。医師は人の心身に触れる専門的な技術を身につけるため、その専門性を活かして、仕事することが求められる。

医学を学び始めたばかりの学生にとっては、専門的な技術に触れられるのは、数年後のことだ。しかし、医学を学び始めたばかりの学生でも、人のために働くことができる。

この冊子で学んできた働きかけは、全て1年生にも十分に可能なものだ。この冊子の働きかけを身につけて、今日から、誰かのために、何かを試してみよう。人のために働くことは自分のためでもある。

何かボランティア活動を始めてみよう。

多くの人々が君を待っている。

メモ

日 時	経験内容、感じたこと、考えたこと





**医師になる前にまず働きかけることが  
できる人になろう！**

\_\_医学を学び始める前に身につけるべきこと\_\_

**2011 医学概論 I テキスト**

非売品 無断転載を禁ず

-----  
2011年3月31日発行 第1版1刷

編集 守山正樹

発行 福岡大学医学部公衆衛生学教室

〒814-0180 福岡市城南区七隈7丁目45-1

Tel +81-92-801-1011 x.3315

Fax +81-92-863-8892

印刷 城島印刷有限公司（福岡市中央区）

-----  
Copyright ©2011 by Masaki Moriyama

Printed in Japan

ISBN978-4-901961-07-3